



こうのす

鴻巣市章

議会だより

3月定例会

2025.5.15

第78号

発行 埼玉県鴻巣市議会

〒365-8601 埼玉県鴻巣市中央1番1号

TEL 048(541)9001 FAX 048(541)1327

ホームページ <https://www.city.kounosu.saitama.jp>



6月定例会

開催予定日は

6月11日(水) 11時	本会議(開会)
6月16日(月) 9時	本会議(議案・請願質疑、委員会付託)
6月18日(水) 9時	文教福祉・まちづくり 常任委員会
6月19日(木) 9時	政策総務・市民環境 常任委員会
6月23日(月) 9時	本会議(一般質問)
6月24日(火) 9時	
6月26日(木) 9時	
6月27日(金) 9時	
7月1日(火) 9時	本会議(閉会)

●第1回臨時会・3月定例会の主な内容●

審議議案……………P2～5

・当初予算、条例制定、条例の一部改正、補正予算

代表質問……………P6～7

一般質問……………P8～11

鴻巣市議会ハラスメント防止条例・提出議案とその結果…P12

第1回臨時会
1/22
3月定例会
2/20 ~ 3/19

令和7年度鴻巣市一般会計・特別会計・公営企業会計予算決まる

“ウェルビーイング”なまちづくり



令和7年第1回臨時会は、1月22日に開かれ、市長から提出された議案10件について慎重審議し、原案のとおり可決しました。

3月定例会は、2月20日から3月19日までの28日間の会期で開かれ、市長から提出された「令和7年度鴻巣市一般会計予算」など36件の議案について慎重審議し、すべての議案を原案のとおり可決しました。また、最終日に委員会提出議案として1議案、議員提出議案として2議案が上程され、2議案は原案のとおり可決しましたが1議案は否決となりました。

令和7年度 会計別当初予算額 (単位：千円)

一般会計		43,131,000
特別会計	国民健康保険事業	11,735,000
	介護保険	10,115,000
	北新宿第二土地区画整理事業	611,000
	広田中央特定土地区画整理事業	76,000
	後期高齢者医療	2,101,000
計		24,638,000
公営企業会計	水道事業会計	3,716,299
	公共下水道事業会計	4,130,863
	農業集落排水事業会計	211,596
	計	8,058,758
合計		75,827,758

令和7年度一般会計予算の概要

令和7年度一般会計予算の総額は、431億3100万円です。令和6年度と比較すると25億6300万円、約6・3%の増となり、過去最大の予算規模となります。

歳入の根幹をなす市税は、市民税では、個人市民税の納税義務者の増加等による増収を、固定資産税においても、新築家屋数の増加等による増収を見込んでいます。

歳出は、令和6年10月から対象が拡充された児童手当支給事業、民間保育所等の職員の処遇改善を図る特定教育・保育所等支援事業、利用者の増加等が続く障害者自立支援給付事業等の各福祉事業、各種行政手続に係る自治情報システムを標準化・共通化する基幹系システム事業、鴻巣中央小学校舎屋上防水等改修工事などを実施するため増額予算としています。

令和7年度予算 4 常任委員会はココに注目しています！

市民環境常任委員会

公共交通維持事業

市民の移動手段を支えるコミュニティバス「フラワー」を運行し、利便性向上と公共交通活性化を図ります。EV車両への更新や地域公共交通計画の策定を進め、特別乗車証の対象も拡大し、利用しやすい環境を整えます。

関連予算額 1億7159万1千円



まちづくり常任委員会

鴻巣駅東口にエレベーターを設置

高齢者、障がい者及び子育て世代の方々も含め、鴻巣駅利用者がより利用しやすい環境を目指すため、鴻巣駅東口に接続するエレベーターを新たに整備します。令和7年度は実施設計業務を行います。

関連予算額 2611万4千円



写真はイメージです

文教福祉常任委員会

小・中学校体育館に空調設備設置へ

近年の猛暑に対応し、児童・生徒のより良い教育環境の整備と避難所環境充実のため、小・中学校体育館への空調設備導入に向けた調査を実施します。

関連予算額 81万5千円



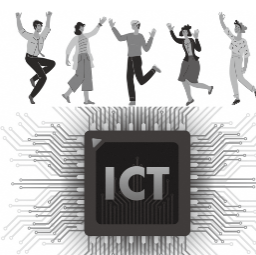
写真はイメージです

政策総務常任委員会

自治体情報システムの標準化

20業務の情報システム(住民記録や地方税など)を、国の示す標準仕様に合わせたシステムへ移行します。令和8年1月から新システムへ順次移行予定で、利便性の向上や将来的にはコスト削減が期待されます。

関連予算額 4億9012万1千円



マチイロ 掲載しています。

スマートフォンでこの「議会だより」をチェック！



本会議映像(ライブ・録画)をインターネット配信しています。

鴻巣市のホームページから鴻巣市議会・議会中継にてご覧ください。



主な審議内容

政策総務常任委員会



当初予算 財政調整基金

問 今後の積み増しの見通しは。

答 標準財政規模の5%程度にあたる約13億円以上を維持することで、これまで発生した災害等に対応できました。この考えを引き続き維持して、予期せぬ緊急的な財政出動にも対応できるように備えていきます。令和7年度当初予算の繰入額が18億1000万円であることを踏まえると、同様の対応を続けるためには、最低でも31億円前後の基金残高が必要であると考えています。今後は義務的経費等の増加が見込まれることから、国や県の補助金の活用を図るとともに、歳出削減にも努めていきたいと考えています。

問 令和6年度末の各基金残高見込みは。

答 補正予算可決後の残高は、財政調整基金約32億800万円、合併振興基金約23億2900万円、減債基金約6億4700万円、公共施設等整備基金約7億1200万円の見込みです。

当初予算 ふるさと寄附金

問 減額要因は。

答 物価高騰の影響で日用品の返礼品が人気となる中、本市は日用品が少なく、寄附者が他自治体へ流れ、寄附額が減少していると考えています。

問 PR方法は。

答 令和6年度は、市制施行70周年のPRパートナー事業者や「このとりSDGsパートナー」事業者を募集し、市内事業者とのパートナーシップの構築が進められています。こうした関係性を活用し、寄附金の受入れ拡大を目指していきたいと考えています。

問 受入れ拡大の工夫は。

答 寄附金の増加には「人気の返礼品の発掘」が重要なポイントとなります。最近の傾向として、体験型の返礼品の人気の高まっています。これまでも、市内唯一のゴルフ場の利用券や、このす花火大会の入場券などを体験型返礼品として提供してきました。今後も、寄附金の拡大につながる魅力的な返礼品の発掘に引き続き取り組んでいきます。

当初予算 シティプロモーション推進事業

問 コウノトリを市の鳥として指定す

る目的は。

答 これまで取り組んできた、コウノトリをシンボルとしたSDGsの推進を通じて、経済・社会・環境の3つの側面が調和した持続可能なまちづくりを、さらに推進していきます。また、幸せをもたらす存在として広く認知されているコウノトリを核としたシティプロモーションを展開することで、市民のシビックプライドの醸成につなげていきたいと考えています。市の鳥に指定することで、コウノトリをシンボルとしたSDGs推進への全市民的な機運が高まり、市民の地域への誇りや愛着が一層深まることが期待されます。



文教福祉常任委員会



条例の制定 こどもの権利条例

問 条例を策定するにあたり、子どもたちの声をどのように生かしたのか。

答 こども計画を策定する上で実施したアンケートの中で、本市はどんなまちになってほしいかという設問に対して「やりたいことを応援してくれるまち」という回答が多

かったことから、その意見を条例前文に反映し、「こどもたちのやりたいことを地域全体で応援する機運を醸成します」という文言を入れました。

問 子どもの権利を擁護する第三者機関設置が盛り込まれていない理由は。

答 パブリックコメントで意見が寄せられ、こどもまんなか会議では、埼玉県が設置している「子どもの権利擁護委員会」を活用できるよう周知を図った方が良いとの意見がありました。条例において権利を擁護する第三者機関を設ける予定はありませんが、今後の検討課題と考えています。

条例の制定 こども誰でも通園制度

問 食事の提供は可能か。

答 公立の子育て支援センターが入っている保育所には給食室があるため、有料で月齢に合わせた食事を提供しています。アレルギーについて、初回面談時に詳細な聞き取りを行っています。

問 周知方法は。

答 市ホームページやSNSへの掲載のほか、4か月児健診や1歳6か月児健診に出向き、チラシ等を配布し制度の周知を図っています。

当初予算 重層的支援体制整備事業

問 支援件数と職員体制は。

答 令和6年12月末の支援件数は、アウトリーチが1554件、多機関協働が827件です。職員体制は、福祉課地域共生担当の正規職員が4人と会計年度任用職員が6人です。地域共生担当だけでなく、庁内の関係部署と連携し実施しています。

当初予算 吹上地域保育園等 新設整備事業

問 地域住民及び保護者との合意形成は。

答 吹上地区町内会長会議において説明したほか、建設予定地周辺の地権者に対して個別に説明しました。保護者からは、吹上富士見・鎌塚両保育所とも老朽化や駐車場に問題があるため、新しい保育園に通園させたいという意見が多数でした。合意形成はおおむね図られていると考えています。

当初予算 さわやか相談員活用事業

問 相談内容及び件数は。

答 令和5年度における面談での相談実人数は、不登校に関する相談が811人、性格や行動に関する

相談が399人、家庭や両親に対する相談が70人、友人関係の相談が15人です。

問 施設介護サービス給付費が大幅な増額になっている要因は。

答 令和7年度に新たに整備する施設の影響を考慮した予算額です。施設を希望する人が多いことが大きな要因です。

まちづくり常任委員会



条例の制定 鴻巣市上水道給水条例 の一部を改正する条例

問 水道料金改定の主な目的は。

答 昭和37年の給水開始以来、人口増加や生活水準の向上に伴う水需要の増加や給水区域の拡大に対応するため施設整備を実施してきましたが、施設や管路の老朽化、耐震化に伴う多額な更新費用が見込まれており、さらに少子高齢化に伴う人口の自然減少や節水機器の普及などにより、料金収入が減少するなど厳しい経営状況が続いています。こうした中で、人口減少や節水機器の普及などにより有収水量が減少していること、物価高騰による維持管理費用が増加していること、施設や管路の老朽化、施設耐震化に伴う更新費用の確保が

必要なこと、さらに県水の値上げが

令和8年4月から施行されます。現行料金のままでは8年度に純損失に転じる見込みであることから、経営基盤の強化、持続可能な水道事業とするために料金改定を行うものです。8年度に料金改定を行った場合、料金の全体の影響額については、9年度までは年間約4・1億円の増収が見込まれます。



当初予算 交通安全施設整備事業

問 道路反射鏡の点検方法は。

答 国の指針に沿ってカーブミラーを点検するもので、点検内容は、目視、さびや損傷等の確認、また、触診により支障がないか、倒れたりしないか、安全性を確認するものです。



当初予算 (仮称)北新宿近隣 公園整備事業

問 公園整備事業の内容は。

答 公園整備の内容としては、多目的

広場、遊具広場、芝生広場、ウォーキングコース、ドッグラン、駐車場、駐輪場、あずまや、健康器具、ベンチ、照明、植栽などを整備する予定です。遊具広場には、大間近隣公園にも整備したインクルーシブ遊具を含む複合遊具などを整備する予定です。公園整備のスケジュールについては、7年度は主に造成工事を行い、8年度に建築工事及び遊具の整備工事などを行う予定で、工事期間中は安全性を配慮し、工事関係者以外の立ち入りを制限して、公園整備を進めることを考えています。

当初予算 空家等適正管理事業

問 空き家件数の推移は。

答 令和5年に総務省が実施した住宅・土地統計調査によると、本市の総住宅数は5万3800戸となります。このうち空き家や建築中の住宅など「居住世帯のない住宅」が5370戸あり、このうち5100戸は「空き家」と言われています。さらに、このうち「賃貸・売却用及び二次的住宅（別荘等）」を除く空き家が2850戸となり、総住宅数に占める割合が5.3%となることから、平成30年の調査と比べて0.1ポイントの上昇となります。

市民環境常任委員会



当初予算 AIを活用した 交通安全対策事業

問 費用対効果の検証方法は。

答 本事業の目的は交通事故の未然防止を図るため、AIが予測した交通事故リスクが高い危険箇所に安全対策を講じることです。検証方法としては事故状況や、対策を講じた後にリスクがどう変化したのかを確認します。

当初予算 デマンド交通運行事業

問 利用状況や今後の展望は。

答 令和6年度は乗合タクシーを2台増車し、ひなちゃんタクシーについては一般タクシーの料金改定に併せて200円値上げを行い、乗合タクシーへの移行が進んでいます。また、7年度は市民の要望を踏まえ、市境にある行田市内のフリーツフについて共通乗降場に追加します。



当初予算 コウノトリの 里づくり事業

問 令和6年度における取組は。

答 自然再生事業として川里中央公園予定地での除草作業や魚道等の掘削、また生き物にやさしい自然環境づくり補助金により、田んぼの湛水管理を実施しています。

当初予算 直売農産物生産拡大 体制整備支援補助金

問 補助金の用途は。

答 道の駅農産物直売所に出荷を予定する農産物の生産拡大に必要な生産施設等の導入を行う市内の農業者の支援を目的としています。

問 道の駅での農産物販売の内容は。

答 新鮮な地元野菜が手に入ることが、道の駅直売所の強みと捉えています。管理運営候補者からは、定番の野菜を揃え日常利用を促進しつつ、本市らしさも取り入れた直売所を目指すとしています。

当初予算 家具転倒防止器具等 設置促進事業

問 一部新規・拡充事業の詳細は。

答 新たに、対象器具に住宅用火災警報器を追加しました。その他にも、

災害時に身を守るような器具として、突っ張り棒・粘着シート・飛散防止フィルム等を対象としており、多くの市民の方に活用してもらえようとして周知しています。

当初予算 国民健康保険事業 特別会計

問 中長期の運営ビジョンは。

答 年齢到達により被保険者が後期高

齢に順次移行していきます。広域化の中で保険税率が完全統一へ向かう中、税水準を下げていくためには、本市として医療費の適正化についてしっかりと考える必要があります。重複受診や重複多剤を防ぐ適正受診の啓発や、特定健診を軸とした各種保健事業を着実に実施していくことが重要であり、事業展開をしていくと考えています。

住み慣れた地域での持続可能な 在宅医療・介護に関する提言（抜粋）

文教福祉常任委員会

地域の医療と介護に従事する「人財」を守り、市民が住み慣れた地域で安心して医療・介護の体制を維持するには、サービス従事者の安全確保と労働環境の改善が不可欠です。これまでの意見交換会及びアンケート調査を通じて次のとおり提言します。

- 一 「広報こうのす」で介護保険制度やハラスメント防止を目的とした特集ページを掲載すること。
- 二 利用希望者及び家族に介護保険制度について分かりやすく説明すること。
- 三 厚生労働省が作成した「ハラスメント対策マニュアル」や、県の「暴力・ハラスメント相談センター」について周知すること。
- 四 事業所からの暴力・ハラスメントの相談に寄り添うこと。暴力・ハラスメント対策について調査・研究すること。



市長の施政方針に対する代表質問

3月定例会では、並木市長が令和7年度施政方針に基づく各種事業を説明し、それに対し各会派の代表が質問を行いました。

※質問時間は、10分＋会派人数×5分です。



明誠会
金子 雄一



令和7年度の予算編成の基礎となる財政状況と今後の見通しは

問 予算編成にあたり市の財政状況と新たな財源確保対策は。

答 令和5年度普通会計決算では、実質的な公債費の標準財政規模に対する比率を示す「実質公債費比率」や将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率を示す「将来負担比率」等の健全化判断比率は、県内40市の平均を下回り、良好な状況にあるものの、国庫支出金などの減収等により依然として、厳しい状況ですが、今後においても財政調整基金残高の適正規模を維持しつつ、予期せぬ災害等に対応できるよう備

えています。

また、新たな財源確保対策として、現在、本市では、未利用資産の公売による売却のほか、市内事業者との連携により地域資源を最大限に活用しながら、ふるさと寄附金の受け入れ拡大を図るなど、自主財源の確保に取り組んでいます。そして、令和7年度の新たな取組として、市が所有する公共施設の運営や維持管理において、民間事業者からの提案を募集し、採用する場合は随意契約を保証することで実現化を図る「随意契約保証型民間提案制度」を実施すること、で、「ネーミングライツ」による収入増及び施設の維持管理などの役務提供による経費の節減が期待できることから、制度導入に向けたガイドラインの策定に取り組んでいきます。

○その他の質問

・「市制施行70周年記念事業」の検

証と「合併20周年記念事業」の展開
・「市民と歩む新しい鴻巣」を実現するための今後の取組

ウェルビーイングなまちづくり
施策・事業の選択と集中



新未来こうのす
小泉 晋史



問 ウェルビーイングなまちづくりに向けた市長肝入りの事業は。

答 本市のまちづくりへの意見や要望にきめ細やかに対応し、私が目指す「市民と歩む新しい鴻巣」をより具現化していくため、令和7年度の施政方針で、『くらしやすさを実感できるまちづくり』『こども・若者、子育てにやさしいまちづくり』『SDGsの推進による持続可能なまちづくり』の3つの基本理念を掲げ、その実現に向けて特に重点的に取り組んでいく新規事業や一部新規・拡充事業を中心に示した事業が、7年度における一押し事業でもあります。7年度においても、誰一人取り残さない持続可能な市政運営を進



め、3つの基本理念に基づく重点事業をはじめ、総合振興計画に基づく6つの政策の目標達成に向けて取り組む全ての事業を効果的・効率的に実施することで、本市のさらなる発展と飛躍、市民一人ひとりが主役となり、しあわせと生きがいを感じられる「ウェルビーイング」なまちづくりを進めます。

問 事業の選択と集中のポイントは。

答 「最小の経費で最大の効果」を念頭に、職員一人ひとりが全ての事業の必要性や効果をあらゆる角度から点検し、一層の創意工夫を行うほか、前例踏襲主義からの脱却、緊急度・優先度に基づく施策・事業の選択、経費の節減等を徹底し、経済・物価動向を見極め、賃金や調達価格の上昇を適切に考慮し、地域課題解決等の観点から予算案を決定しました。

持続可能な行政運営の財源確保策
命を守る防災機能強化をどう図るか



公明党
潮田 幸子



問 市が取り組むべき課題は多岐にわたる。財政は厳しくとも市民のくらしは守らなければならない。持続可能な行政運営のために税外収入等

の財源確保をどのように進めるのか。

◎令和7年度は、民間のアイデアや技術を活用して公共サービスを改善する「随意契約保証型民間提案制度」の導入に向けたガイドライン策定、企業による市所有施設への「ネーミングライツ（命名権）」で収益を得ることを検討しています。

問 激甚化・頻発化する自然災害、大規模道路陥没など、市民の命と暮らしを守る備え・取組は急務である。市は司令塔機能としての災害対応強化をどのように図るか。

◎災害発生時の司令塔機能の役割を担う市災害対策本部と、消防・警察・自衛隊・ライフライン業者等による「FEMA訓練」を行い、防災関係機関連携強化を図り、迅速・的確に指示ができる組織体制を確保しています。平時から正確な情報収集・整理を心掛け、災害対応力の向上に努めます。

○その他の質問

・本市における地方創生の柱は何か
・全庁的なDX推進の取組の推進
・ウェルビーイングなまちづくりの構想に「こどもまんなか社会」の実現をどう位置付けるか



市長就任して3回目となる
予算編成での重点施策は



こうのす未来と維新
羽鳥 健



問 令和4年8月、20年ぶりとなる新市政が発進し、市民から市政の刷新を期待されている。並木カラーを全面に出した予算を上程されたと考え、市長就任3回目となる予算編成での重点施策は何か。

◎「市民と歩む新しい鴻巣」の実現に向けて、重点的に取り組んでいく施策を令和7年度の施政方針における3つの基本理念として示しました。1つ目「くらしやすさを実感できるまちづくり」では、災害に対する備えや地域の安全確保、ライフステージに応じた健康づくり、利便性の高い都市機能の向上。2つ目「こども・若者、子育てにやさしいまちづくり」では、こどもを安心して産み育て、次代を担うこどもたちが健やかに成長できる環境づくりと併せて、「生きる力」を育むための学びの支援と文化芸術の振興。3つ目「SDGsの推進による持続可能なまちづくり」では、「コウノトリをシンボルとする『SDGs未来都市』として、市民と

事業者との連携のもと、SDGs達成に向けた取組を拡大・深化することにより、持続可能なまちづくりを進めることとしています。

最優先・優先する事業は
特性を生かした事業とは



かいえんたい
大塚 佳之



問 事業を進める上では、予算と時間と人的確保が必要であり、不足が生じれば、事業推進が滞り市民生活に影響が生じる。本市の持つ特性を生かしつつ、優先すべき事業等を伺う。
◎事業の重点化と優先順位については、重点事業、主要事業、新規事業等を効率的・効果的に展開できるように調整した結果、3つの基本理念に基づく重点事業を、最優先事業として取り組みます。災害支援体制整備として備蓄品の充実、小・中学校体育館への空調設備の導入調査、川里地域で施設一体型の義務教育学校整備、道の駅整備などが主な内容です。本市は、約400年の伝統を誇る「ひな人形のまち」として、近年では、「花のまち」として発展してきました。コウノトリをシンボルとしたSDGs達成に向けた取組をはじめ、ひな

人形や花など特色ある市政運営を展開していきます。

施策を展開していく上での職員体制
SDGs目標につながる農業振興策



日本共産党
竹田 悦子



問 安全安心に暮らす上でも災害支援体制整備や、様々な事業を進めていく上でも正職員を増やすことは。

◎急激な社会変化に対応するとともに、多様化する市民ニーズに応える職員体制にするため、今年4月1日時点で708人となる予定です。再任用職員、任期付職員及び会計年度任用職員の活用を図り、市民サービスの向上に取り組んでいきます。

問 地球沸騰化の時代、脱炭素につながる取組の一つとしての農業振興策の具体化は。

◎昨年、一昨年の6月から8月にかけて記録的な猛暑となった結果、農作物にも大きな被害をもたらしています。農業のもつ物質環境機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料や農薬の使用等による環境負荷に配慮した「有機農業」等を支援していきます。

市政そここが知りたい!

一般質問は、議員に与えられた発言の場で市政について質問をすることができます。
限られた字数のため、詳細については本庁・支所にある市政情報コーナー、図書館に備え
つけの会議録や市議会ホームページをご覧ください。

この一般質問のページは質問者が自ら執筆した原稿を掲載したものです。

災害時協力井戸登録制
度の導入ができないか



問 災害時に家庭にある井戸を近
隣の方に提供いただける場合の
災害時協力井戸登録制度を導入
することができないか。

答 地域の助け合いとしても有用
と考えます。新たに策定される
ガイドラインや先
進的取組事例を参
考に導入に向けた
情報収集を進めま
す。



問 障害者等日常生活用具給付事
業に、暗所視支援眼鏡・電気式
たん吸引器外部バッテリーをネッ
ト購入も含め追加できないか。

答 給付等品目に加えることを検
討していきます。

○その他の質問

・ひなちゃんタクシーにおける
マイナンバーカード活用
・赤ちゃんの駅「搾乳シール」
・不登校やひきこもり傾向の子
どもたちに映画鑑賞で一歩前進
のきっかけを創る取組

教員の働き方改革
避難所等の通信確保



問 教員との意見交換の実施は。
問 事前にアンケート結果を
基に教職員と共に働き方改革の
取組や課題を話し合い、向上に
向けた提案を募っています。

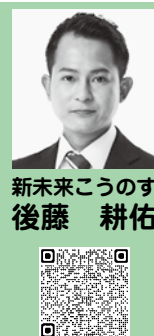
問 部活動地域移行に向けては。
答 より良い部活動地域移行に向
けて関係者のニーズ、地域の実
態把握に努め、多面的な議論を
重ね、地域一体となった取組を
推進していきます。

問 大規模災害発生における避難
所での通信確保の新技術導入は。
答 本市では避難所となる公共施
設に災害用に切り替え可能なW
i-Fiを整備することで情報収
集を可能としています。また、W
i-Fiが使用できない場合は、
車載型基地局や有線給電、ロー
ン無線中継システム等の手配を
行うことを想定しています。

○その他の質問

・带状疱疹ワクチンについて
・防災教育について

ボランティアポイント
・なぜシニア限定か



問 介護施設等でボランティアを
すると、換金可能なポイントが
貰える本事業、ポイント付与対
象者を65歳以上とする理由は。
答 介護保険法第115条の45に
規定する地域支援事業として、
第1号被保険者の介護予防や社
会参加等の目的で実施するため、
65歳以上を対象としています。

問 同条には第2号被保険者を対
象外とする規定はなく、また財
源は第2号被保険者（40歳以上）
からも支出している。現役世代
の参加促進は地域福祉の担い手
確保としても重要で、財源の公
平性を考えても対象年齢を引き
下げるべきと考えが見解は。

答 幅広い世代の支え合いや人材確
保が重要なため、年齢を引き下
げている他市の先進事例等を参
考に、調査研究を進めます。

○その他の質問

・フットケアの啓発
・カスハラ予防策



父親の産後うつ
吹上元荒川のサクラ



問 母親に限らず父親にも産後う
つがあることがわかってきたが
本市の父親に対する支援体制は。
答 新生児訪問や健診の際、父親
の不調の訴えを母親から聞くこ
とが増えたと感じており、今後
もパパママクラス等での積極的
な周知や父親の産後うつへの兆
候が見られた場合、気軽に相談で
きる窓口の案内等を行い、支援
の充実に努めていきます。

問 吹上元荒川の桜はクビアカツ
ヤカミキリの被害や樹齢70年経
過する状態。令和7年度の対策
と今後の方向性は。

答 吹上元荒川の桜に経過観察の
ための番号札をつけ、クビアカ
ツヤカミキリの被害に遭った桜
に樹木医の診断や薬剤等の注入
を行いました。またクビアカツ
ヤカミキリに対する防除イベン
トの実施に向け準備を進めてお
り、元荒川の桜を守って
いくよう努めていきます。





下水道の老朽化の状況 避難所の環境改善

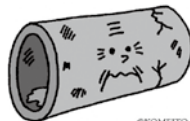


公明党
橋本 稔



問八潮市で道路の陥没事故があったが、本市の属している荒川左岸北部流域下水道の状況について危険箇所や定期点検、対策はどうなっているのか。

答施設の点検は管路カメラ等により全管路を5年に1回以上カメラでできない箇所は路面下空洞調査を実施し、劣化があると判定された箇所は適切に対応していると荒川左岸北部下水道事務所から聞いています。



問避難所の改善の基準として政府はスフィア基準を取り入れた。本市でのトイレ設置基準はどのように設定されているのか。

答トイレ等は内閣府のガイドラインに基づき進めているためスフィア基準の在り方に沿った対応が可能と想定しています。今後も良好な生活環境が確保できるように必要な措置を講じます。

小中一貫教育の方向性 下水道事業の財政状況



こうのす未来と維新
金澤孝太郎



問市内小・中学校への小中一貫教育の導入と今後の方向性は。

答児童生徒の減少に伴う小中一貫教育の導入は、地域での学校のあり方、学校施設の状況、通学区域の見直し等を勘案し進めます。9年間の一貫した教育ができる義務教育学校や小・中学校が独立した小中一貫型小学校・中学校への再編を目指し、小中一貫教育を市内全地域へ拡大していきます。

問本市の公共下水道事業の今後の財政的な方向性と課題等は。

答市民の生活環境を守る重要なインフラですが、持続可能な運営には多額の費用が掛かります。老朽化対策等を含めた事業経営は独立採算制を基本原則としていますが、収支不足を補填するため一般会計からの繰入を充当しています。今後経営基盤の強化を図るため適正な下水道使用料の検討も必要と考えています。

鴻巣市文化芸術振興 基本計画（案）



新未来こうのす
藤村 孝志



問文化芸術の保存及び継承は。

答郷土芸能振興事業として6団体に郷土芸能保存会補助金を交付することで、各地における貴重な文化資源の継承に対し継続的な支援を行っています。さらに5年に1回開催している「郷土芸能まつり」において、獅子舞や木遣りなどの郷土芸能を発表する場を設けています。

問子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出は。



答小中学校等との連携を通じた文化芸術教育として、アンサンブル鴻巣ウィルトゥオーゾ団員によるプロの演奏家が小中学校等を訪問し、生の演奏に触れることで、質の高い芸術に触れる機会を設けています。また、市民文化祭など、日頃より取り組んでいる成果を発表できる場所の提供等を行っています。

○その他の質問

・水害に向けた避難訓練



本市の消防団の組織と 運営は



市ノ川徳宏



問消防団の団員の体制は。

答令和7年3月1日時点で、基本団員は324人、機能別団員は17人となっています。

問運用年を経過した消防車の処分は。

答鉄をはじめとした原材料、部品価格の高騰、特殊自動車であること等の要因により、売却が見込まれたため、売却を行っています。

問団員の処遇改善は。

答魅力ある消防団としての人材確保に繋げるため、令和6年4月1日から、月額報酬を県内平均以上に改正し、一律1700円増額しています（団長を除く）。

また、消防団運営費交付金を一人あたり3000円増額し、1万6000円に改正しています。



視覚障がい者の方への 施策



かいえんたい
秋谷 修



問踏切道やフラワー号バス停などに点字ブロックを設置することは。

答第3次鴻巣市障がい者計画では、生活環境の整備促進として、歩行空間の改善整備や公共交通機関へのバリアフリー化を推進することとしています。踏切道については、現在設置している場所はありませんが、令和6年1月に国土交通省では「道路の移動等円滑化に関するガイドライン」を改正し、踏切道内の安全対策を盛り込んでいます。今後関係部署や鉄道事業者と調整を図りながら、整備に向け調査研究します。フラワー号バス停については、道路の点字ブロック設置に合わせて視覚障がい者の利用が見込まれるバス停には設置済みです。今後さらに、視覚障がい者の利用が見込まれるバス停がある場合には、道路管理者と連携して検討します。

地域包括ケアシステムの 深化・推進は



新未来こうのす
高橋 亜紀



問 自立支援・介護予防・重度化防止の推進の総合事業の今後の展開は。

答 高齢化が進む中、高齢者が地域で安心して暮らせるよう、介護予防・重度化防止、社会参加の世代を超えた地域づくりが必要

です。地域ニーズや資源を把握し、民間リソースや先進事例を研究し、基準緩和型・住民主体サービスの創出、通いの場や

担い手養成、支え合いの仕組みづくりを進め、地域包括ケアを深化・推進します。

問 埼玉県が作成した「ジェンダー視点による避難所開設・運営充実強化のための標準手続き」の反映は。

答 本市では手引きに基づき「鴻巣市避難所運営マニュアル」の改訂作業に着手しており、令和6年度中の改訂を目指し、作業を進めています。

こうのす空・花クーポン2025事業



明誠会
田中 克美



問 クーポン券のプレミアム率を8割にしたのはなぜか。

答 第1回から4回まではプレミアム率40%、第5回目よりプレミアム率は60%として行ってきました。

第7回目となる「空・花クーポン券2025」では、今だに

続くエネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴い影響を受けている市民への支援、燃料費等の

高騰により大きな影響を受けている市内事業者への支援、地域経済の振興を目的として、クーポン券のプレミアム率を60%から80%へと引き上げることになりました。

問 財源は。

答 この事業は、国による物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金により事業を計画し、1月の臨時会にて承認された補正予算を令和7年度へ繰越することを実施します。

空き家対策



新未来こうのす
中西耕二郎



問 今後の対応は。

答 現在、「空家等実態調査」を実施しており、その結果を基に分析・検討を行い、令和7年度の「鴻巣市空家等対策計画」改定に向けて取り組んでいきます。今後も、調査・研究を行うとともに、空家等対策協議会や庁内関係部署と連携し、空き家の減少に努めていきます。

問 納税通知に伴う周知は。

答 令和7年度は、固定資産税納税通知書同封のお知らせチラシに、空き家の適正管理に関する記事を掲載する予定です。

問 解体補助金の要件緩和は。

答 見直しは考えていませんが「老朽空き家等解体補助制度」の利用拡大に向けて更なる周知を図っていきます。

○その他の質問

・創業支援の取組は

SDGs推進事業「まちのコイン」



未来の会
坂本 国広



問 導入の効果は。

答 地域の人・モノ・サービスをつなげるデジタルプラットフォームの構築により、市民・事業者が「参加する」「学ぶ」「つながる」ことが実現できます。

問 自治会等、任意団体のスポットとしての参加とその意義は。

答 自治会や市民団体等への周知及び説明会を開催いたします。ポイントの「ブーケ」の受け渡しだけではなく、各

スポットからのお知らせやイベント情報等をユーザーに対して送信することができ、活動の登録や参加者の募集もできます。

問 まち巡りの企画は。

答 こうのす花まつりで、各会場を巡るスタンプラリーを実施予定です。

まちのコインを
インストールして始めよう



川里地域における義務 教育学校新設への声は



日本共産党
諏訪三津枝



問 義務教育学校では教職員の体制が大きく変わり、校長先生は一人、教員は小中学校両方の免許が必要である。全国で、すでに実施している義務教育学校からは「児童の指導に課題が出ている」との報告もある。先生が何人で教育内容はどう変わるのか等、市民の疑問や意見の聴取が必要であるが、具体化は。

答 施設の整備等、ハード面だけでなく、教育内容等のソフト面も教職員、保護者、自治会等、それぞれの立場から意見を聞いています。意見については、川里地域の小中学校長を中心に構成される小中一貫教育推進連絡協議会で報告し、協議して

います。今後も施設整備の準備と並行して、教育内容等についても検討を進めていきます。

○その他の質問

・民生・児童委員の担い手確保



本市の小・中学校のいじめの実態と対応策は



日本共産党
竹田 悦子



問 文部科学省のまとめでは、いじめの件数は令和5年度小学校で58万8930件、中学校で12万2703件と過去最多となっている。本市の実態と対応策は、また「重大事態」件数は何件か。

答 小学校で56件、中学校82件、計138件と、令和4年度の110件を超え過去最多となっています。「重大事態」の件数は2件です。いじめは「どの学校でも」「どの子にも起こり得る」との認識のもと、いじめの未然防止、早期対応、早期解決に努めています。また「いじめ重大事態」については、法律や文部科学省の「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」等に則り対応しています。

問 いじめは何件解決したのか。

答 昨年12月末の時点で、138件中131件が解消しています。残り7件についても解消に向けて対応を継続しています。

会議録などの公文書管理は



社民党
西尾 綾子



問 令和元年に本市中学校で起こったいじめ重大事態について、調査委員会の10回分の議事録が作成されなかったことについて、総務課はどう考えているか。

答 当該会議録については、基準等に基づく作成がされていませんでしたが、今後は基準等に基づき適切に会議録が作成されるものと考えています。

問 会議録を作成していないのは公文書管理法違反である。本市も上尾市のように公文書管理条例の制定が必要と考えるが見解は。

答 市内閣府が実施した調査では、令和6年4月1日時点で公文書管理のためのルールを条例で定めている県内市町村は2市です。今後、他市町村の動向を注視していきます。

○その他の質問

・桜や梅を枯らす特定外来生物クビアカツヤカミキリについて

不登校児童生徒の対策は



明誠会
芝寄 和好



問 令和6年度設置した鴻巣市不登校対策チームの構成員と何を話し合い、何を行ってきたのか。

答 市内小・中学校の校長、教頭、主幹教諭、教育相談主任、養護教諭及び市教育委員会事務局職員の14名です。埼玉県スクールカウンセラーの講義、不登校の発生における傾向と分析等を行いました。また各校で効果的だった事例等の内容を精選し、各小・中学校の不登校対策に生かせるよう情報提供をする予定です。

問 14名に教職員以外も加えることが望ましいと思うが、なぜ加えなかったのか。

答 教職員自身が抱える悩み等を共有しつつ手立て等の構築と具現化を図るため教職員以外を構成しました。7年度は教職員以外を講師や指導者として招きつつ、教職員の立場から協議・提案していきたいと考えています。

鴻巣市の水道水は安全か



かいえんたい
大塚 佳之



問 一般的に環境汚染は、大気汚染、土壌汚染、水質汚染の3つに区分される。過去のマスコミ報道において、健康被害が報じられている。近年、水質汚染として、有機フッ素化合物のうち、PFOSやPFOAに発がん性ありとの指摘があるが、水道水の安全性について伺う。

答 国は、令和2年にPFOSとPFOAの合算値で1L当たり50ng以下と暫定目標値を定めました。6年度の取組として、市内8箇所の給水栓から採水した水道水を年1回、自己水源1箇所の井戸水を年2回検査しています。直近では、7年2月に16箇所の井戸水を検査しました。結果については、全ての項目において、暫定目標値を大幅に下回っています。今後、水質検査計画に基づく定期的な検査や、臨時の検査により、水道水の安全の確認に努めていきます。

このす議会だより

あなたのお気に入り「写真」を表紙にしませんか

テーマ「鴻巣市内で撮影した写真」

令和7年6月30日[月]までご応募お待ちしております！

このす議会だより 表紙募集



詳細は
鴻巣市議会HPを
ご覧ください！



「鴻巣市議会ハラスメント防止条例」を 制定！



令和7年3月定例会最終日に、議会運営委員会より条例案を提出し、全会一致で可決されました。

本条例の目的は、議員によるハラスメントの防止に関して必要な事項を定めるものです。近年、ハラスメントは、官民間問わずに高い関心をもって取り上げられる機会も増えており、本市議会としてもハラスメントを許さないとの強い決意のもと、ハラスメントに対するいち早い防止策を講ずるため、制定するものです。

議員には、ハラスメント事象の発生により、本条例を適用させることがないよう自分自身を律する機会とし、全ての議員及び職員が一人の人間として尊厳が保たれ、安心して働く環境が担保されることを目指します。

本条例は、令和7年4月1日より施行されます。

提出議案とその結果

(令和7年第1回臨時会、3月定例会)

議会では上程された議案を、所管する4つの常任委員会（政策総務・文教福祉・まちづくり・市民環境）に付託し、審査を重ねます。その上で、本会議で各議案に対する賛成の立場を起立によって表明します。

●次の議案は全会一致で可決されました。

議案番号	議 案 名
令和7年第1回臨時会	第2号 鴻巣市職員の給与に関する条例及び鴻巣市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例
第4号	令和6年度鴻巣市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
第5号	令和6年度鴻巣都市計画事業北新宿第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
第6号	令和6年度鴻巣都市計画事業広田中央特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
第7号	令和6年度鴻巣市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
第8号	令和6年度鴻巣市水道事業会計補正予算（第4号）
第9号	令和6年度鴻巣市公共下水道事業会計補正予算（第1号）
第10号	令和6年度鴻巣市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）
第11号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
第13号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
令和7年3月定例会	第14号 鴻巣市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
第15号	市の境界変更について
第16号	境界変更に伴う財産処分に関する協議について
第17号	鴻巣市税条例及び鴻巣市都市計画税条例の一部を改正する条例
第22号	鴻巣市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第23号	鴻巣市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第24号	鴻巣市地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の一部を改正する条例
第25号	鴻巣市文化芸術振興基金条例
第26号	鴻巣市手数料徴収条例の一部を改正する条例

議案番号	議 案 名
第27号	鴻巣市建築確認申請等手数料徴収条例の一部を改正する条例
第28号	市道の路線の廃止について
第30号	鴻巣市水道布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
第31号	鴻巣市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例
第32号	令和6年度鴻巣市一般会計補正予算（第8号）
第33号	令和6年度鴻巣市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
第34号	令和6年度鴻巣都市計画事業北新宿第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）
第35号	令和6年度鴻巣都市計画事業広田中央特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
第36号	令和6年度鴻巣市水道事業会計補正予算（第5号）
第37号	令和6年度鴻巣市公共下水道事業会計補正予算（第2号）
第40号	令和7年度鴻巣市介護保険特別会計予算
第41号	令和7年度鴻巣都市計画事業北新宿第二土地区画整理事業特別会計予算
第42号	令和7年度鴻巣都市計画事業広田中央特定土地区画整理事業特別会計予算
第44号	令和7年度鴻巣市水道事業会計予算
第45号	令和7年度鴻巣市公共下水道事業会計予算
第46号	令和7年度鴻巣市農業集落排水事業会計予算
議決第1号	鴻巣市議会ハラスメント防止条例
議決第1号	鴻巣市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

●賛否が分かれた議案は次のとおりです。

議案番号	議 案 名	議決結果	会派名（各会派最左が代表者）															
			新未来こうのす				明誠会				公明党				こうのす未来と維新			
			小泉晋史	藤村孝志	中西耕一郎	高橋亜紀	後藤耕佑	金子雄一	田中克美	芝寄和好	古山大輔	潮田幸子	橋本稔	川崎葉子	茂利博之	羽鳥健	織田京子	金澤孝太郎
令和7年第1回臨時会	第1号 鴻巣市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	キ	●	●
第3号	令和6年度鴻巣市一般会計補正予算（第7号）	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
令和7年3月定例会	第12号 鴻巣市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第18号 鴻巣市こどもの権利条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第19号 鴻巣市立放課後児童クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第20号 鴻巣市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第21号 鴻巣市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第29号 鴻巣市上水道給水条例の一部を改正する条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第38号 令和7年度鴻巣市一般会計予算	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第39号 令和7年度鴻巣市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第43号 令和7年度鴻巣市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	議決第2号 刑事訴訟法における再審規定（再審法）の改正を求める意見書	否 決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×

●は議案に対して賛成、×は反対、キは棄権、欠は欠席 ※議長は採決に加わらず ※並び順は議決順です